

ポストメディア型SNS時代の自然体SNSと、一次データ基盤の構築によるAI活用

- ありのままで魅力的な、他撮りSNS -

郡司 大輝、近藤 祐綺、佐々木 雄大



Snipe

撮るだけで、被写体のプロフィールへ
顔認識による自動共有



被写体管理下で友達のウィジェットへ表示

背景：多くのSNSがメディア化する中で、若者の投稿意欲は削がれ、友達との写真共有が減っている。投稿されるのは景色や食事ばかりで、顔を見られるのも退屈な自撮りだけ。

目的：過度な加工や自意識を気にしなくとも、ありのままで魅力的な瞬間を友達と共有しあうSNSを作ること。

そのために普段撮る友達の他撮り写真を、顔認識によって自動共有し、投稿としてウィジェット表示する。



顔認識によって、他撮りかどうかを判定し、他撮りだけのプロフィールを作る。

Shot 写真

撮影者のフレンドにだけ届き、即時に消える



ショット
撮影者のフレンドにだけ届き、即時に消える

ジャックモード
被写体のプロフィールとなり、被写体のフレンドにウィジェット表示される



ショット
撮影者のフレンドにだけ届き、即時に消える

ジャックモード
被写体のプロフィールとなり、被写体のフレンドにウィジェット表示される

Jack 写真

被写体のプロフィールとなり、被写体のフレンドにウィジェット表示される



被写体のアカウント



被写体のフレンド



Jack写真だけでできたプロフィール

撮影者のフレンド



週当たりアプリオープン回数



4月リリース後、他撮りコンセプトに共感したユーザーが流入するも、リテンションが低く離脱。

3ヶ月ほどの試行錯誤期間にオープン回数が200を下回った。

UI変更や、ウィジェット・DM機能などの効果により、12月頃からV字回復し、現在は週1000回以上。